

EDI-Master DEX for Mainframe
Ver6.00-00
リリースメモ

IBM, z/OS は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

目次

[Ver.6.00-00 での変更内容].....	1
---------------------------	---

本バージョンの変更内容はすべて、IBM 版が対象となります。

対象プロトコルは、全銀 TCP 手順、全銀-UST 手順、JCA-UST 手順です。

[Ver.6.00-00 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	データファイルにおいて「ラージ・フォーマット順次データ・セット」をサポート	機能追加	通信部以外
2	データファイルの管理ボリュームをファイル単位に指定する機能を追加	機能追加	通信部以外
3	データファイルをカタログ化し、マルチボリューム化する機能を追加	機能追加	通信部以外
4	ディスパッチ処理の高速化を図る機能を追加	機能追加	通信部以外
5	着信時に検索する XFILE マクロ件数の上限について説明を追加	説明追加	ユーザーズ・ガイド
6	<p><全銀 TCP 手順／全銀-UST 手順> 着信時に XLINK マクロを検索する条件に当方センター確認コードを追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変更前 XLINK マクロの相手センター確認コード ・変更後 XLINK マクロの相手センター確認コード と当方センター確認コード <p><JCA-UST 手順> 着信時に XLINK マクロを検索する条件にセンターコードを追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変更前 XLINK マクロのステーションコード ・変更後 XLINK マクロのステーションコード とセンターコード 	仕様変更	通信部
7	伝送時に利用する「伝送ファイル I/O バッファ」の DEX 作業域を「論理レコード長」で算出するように変更	仕様変更	通信部

No	概要	VerUp 区分	変更区分
8	多重伝送時に「伝送ファイル I/O バッファ」によるメモリ使用で「16 MB から下の専用域」の空きメモリが不足するため、「伝送ファイル I/O バッファ」の主なメモリ使用エリアを「16 MB から下の専用域」から「16 MB から上の拡張専用域」に変更	仕様変更	通信部
9	EDI-Master シリーズへの製品統合にともない、製品名を「DEX-II」から「EDI-Master DEX for Mainframe」に変更	仕様変更	全体
10	連続して START コマンドまたは RESTART コマンドを実行すると、コマンドビジーが発生する可能性がある不具合を修正	修正	通信部以外
11	ディスクパッチのリトライ中、かつ時間帯指定の範囲外で、手動による START コマンドまたは RESTART コマンドを受け付けない不具合を修正	修正	通信部以外
12	CNTL コマンドで XLINK マクロを照会すると、HPROT=第4パラメータに指定した「E」が表示されない。	修正	通信部以外
13	「DISPADD コマンドの使用方法」に記載したメッセージ番号の間違いを修正 誤：DEXM2003I 正：DEXM239I	修正	ユーザーズ・ガイド
14	掲載漏れのメッセージ番号を追加 ・ DEXM1586A ・ DEX207	修正	ユーザーズ・ガイド
15	メッセージ「DEXM116I」の「DEX の処置」の説明間違いを修正	修正	ユーザーズ・ガイド
16	メッセージ「DEX016」の「操作員の応答」の記載漏れを修正	修正	ユーザーズ・ガイド
17	メッセージログファイルのデータセット編成の説明漏れを修正	修正	導入・移行ガイド

No.10		連続して START コマンドまたは RESTART コマンドを実行すると、コマンドビジーが発生する場合がある不具合を修正
条件発生	全銀 TCP 手順で、START コマンド、または RESTART コマンドを連続して実行する。	
内容障害	コマンドビジーエラーが発生し、伝送が開始されない。	
未実施時の回避策	アップデート コマンドビジーエラーが発生した場合、再度コマンド入力を行う。 ※ディスパッチをご利用の場合、自動的に再度コマンドが実行されるため、上記回避策を行う必要はありません。	

No.11		ディスパッチのリトライ中、かつ時間帯指定の範囲外で、手動による START コマンドまたは RESTART コマンドを受け付けられない不具合を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> ・ディスパッチの起動条件が「時間帯指定」である。 ・ディスパッチの処理条件が「送信処理の起動」である。 ・ディスパッチによって起動した伝送がリトライ中に「指定時間帯」を経過している。 ・「時間帯指定」の範囲外で、伝送ステータスが「未送信：TRS-WAIT」である。 ・「時間帯指定」の範囲外で、手動で START コマンド*1 または RESTART コマンド*2 を実行する。 *1：全銀 TCP 手順／全銀-UST 手順／JCA-UST 手順 *2：JCA-UST 手順	
障害内容	発生条件を満たしたファイルに対して、手動による START コマンド、または RESTART コマンドを受け付けられない。	
未実施時の回避策	アップデート 伝送がエラーになる問題を解消してから、DEX オンラインの再起動を行う。	

No.12 CNTL コマンドで XLINK マクロを照会すると、HPROT=第4パラメータに指定した「E」が表示されない不具合を修正	
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> ・全銀 TCP 手順である。 ・XLINK マクロで HPROT=第4パラメータに「E」を指定している。 ・CNTL コマンドで XLINK マクロを照会する。
内容 障害	CNTL コマンドで XLINK マクロを照会すると、HPROT=第4パラメータに何も表示されない。
未実施時の 回避策	特になし。 アップデート

No.13 「DISPADD コマンドの使用方法」に記載したメッセージ番号の間違いを修正	
変更内容	「DISPADD コマンドの使用方法」に記載したメッセージ番号を修正した。 誤：DEXM2003I 正：DEXM239I
参照先	ユーザーズ・ガイド 「III リファレンス編」 - 「第4章 オンラインコマンド」 - 「4 - 13 DISPADD コマンド」

No.14 掲載漏れのメッセージ番号を追加	
変更内容	ユーザーズ・ガイドに掲載漏れのメッセージを追加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・DEXM1586A ・DEX207
参照先	ユーザーズ・ガイド 「V メッセージ編」 - 「第11章 CTB(オンライン)」 - 「11 - 1 CTB メッセージ」 - 「第14章 制御マクロ診断メッセージ」 - 「14 - 4 XLINK メッセージ」

No.15		メッセージ「DEXM116」の「DEXの処置」の説明間違いを修正
変更内容		メッセージの表示回数に関係なく伝送を中断する仕様のため、「DEXの処理」を以下の説明に変更した。 ・受信したデータを無視し、伝送処理を中断します。
参照先		ユーザーズ・ガイド 「V メッセージ編」 －「第2章 HCP(オンライン)」－「2 - 1 HCP/PCP メッセージ」

No.16		メッセージ「DEX016」の「操作員の応答」の記載漏れを修正
内容 変更		メッセージ「DEX016」の「操作員の応答」に、XACTIV2 マクロのOPT=パラメータで指定できるパラメータ値を追記した。
参照先		ユーザーズ・ガイド 「V メッセージ編」 －「第13章 制御マクロ診断メッセージ」－「13 - 1 XACTIV2 メッセージ」

No.17		メッセージログファイルのデータセット編成の説明漏れを修正
内容 変更		メッセージログファイルのデータセット編成に、PSを追加した。
参照先		導入・移行ガイド 「I 導入編」 －「第2章 導入作業」－「2 - 7 DEX 運用管理システムの導入」 －「2-7-3 メッセージログファイル生成用 JCL」